

のバザーを開きしにこれまた好成績を収め得たりといふ

### 繪ハガキ競技會(第卅四回)

課題

人の顔(寫生) 菜の花(圖案)

切四月三十日、發表五月初旬

○出品の數に制限なけれど粗雜なるものは其儘返却すべし

○出品の際會費金五錢(會友及特別讀者は不用)を送付すべし但開き封の中に切手を入るべからず

○宛所は春鳥會

○詳細の規定は「みづゑ」十九號以前の各號にあり

### 編者より

◎海老名君へ 北上川は中々骨折られた作と拜見します、水が濁つてゐるのと樹木に性質が見えず山と樹との間に距離のないのが欠點だと思ひます◎寺田氏へ 水仙は中

繪として結構ですが季節を過たので用ひかれます、中繪應募者は三月送るなら五月の花をかくといふやうに季節に先じられんとを望みます◎須田氏へ 君の冬といふ漫畫は面白いが前と同じ理由で雜誌へ載せられません

### 問に答ふ

■一 初學者のために頒たる、肉筆臨本の筆者二 幹部先生方の御寫眞を相當代價にて分譲し下さるや三 L S會は何處にありや(花輪S O生)◎一 筆者は幹部諸氏のうちにてなるべく指定に應すべし二 希望の方には差上てもよけれど只今誰も持合はなし三 知らず■木口木版に要する刀類の賣捌所(小樽紫明生)◎取調べて其内報告すべし■一 貴會發行の水彩畫に關する臨本等の代價二 太平洋畫會研究所并に東京美術學校の所在三 日本水彩會研究所々員の肉筆水彩畫を求めたし代金何程位ひにや(陸中花輪S O生)◎一 印刷の善美を望むがため本會にては僅かに大下氏の水彩風景

畫帖(三十錢)を發行せしのみ二 前者は下谷區谷中眞島町後者は上野公園三 別に書狀を以て問合はされたし■O W水彩畫紙とオートマン紙と同一のものにや(H M生)◎オートマンといふ紙を知らず■寫眞例題集の内容定價發行所(須崎正俊)◎廣告欄を見らるべし■版のなぐさみ』はあれきりなのですか(紫明生)◎其うち引續いて出します■鉛筆畫で形を正しく稽古するほかに詩趣あるやうな繪を描いては如何でせうか(樋谷生)◎正しき寫生の力を應用して興味多き繪を作るはむしろ必要な事です■『みづゑ』特別讀者の拂込金が壹圓以上とあり然らば其金高に應じて大なる繪を頒たるにや又參圓拂込むときは一枚壹圓の割にて三枚の繪の分配を受くることを得るにや(宇都宮汀華生)◎然り

### 讀者の領分

■北海道から貴會の万歳を祝し奉り候(S M)■洋畫講義録十三册(全部終了)相當代價にて譲りたし望の方は小樽區手宿裡町十六、本山清吉氏方佐々木鍋吉へ御申越あれ■「みづゑ」發展のため特別讀者募集は大賛成僕も其一人となりました諸君も協同して一日も早く口繪を一葉増すやうにして貰いたし(浪華S生)